

平成 28 年度 第 1 回三重県河川整備計画流域委員会 議事要旨

日時：平成 28 年 6 月 28 日（火）

12 時 30 分～16 時 30 分

場所：三重県熊野庁舎 5 階 大会議室

1. 開 会

2. 主催者挨拶

3. 議 事

(1) 井戸川水系の流域概要について説明をし、次のような意見をいただいた。

- ・ 流域内の山地については、樹木の種類（植林の有無）を調査いただきたい。
- ・ 河川環境については、河道内だけでなく河川周辺の状況も調査いただきたい。
- ・ 抽水植物の種類についても調査し、特定植物があれば、植物に配慮した整備を検討いただきたい。また、文献調査だけでなく、ヒアリング調査も実施いただきたい。
- ・ 市役所前の山ではサギの繁殖がみられるため、ヒアリング調査等を実施いただきたい。
- ・ 平成 23 年 9 月洪水における浸水域は、昔は水田として利用されていた地域に広がっているように見受けられる。宅地が進み、過去の水害の記憶が薄れた頃に被害が発生した印象である。JR 橋梁に流木が引っ掛かり河道閉塞を起こしたとのことであるが、現状復旧ではなく災害の経験を生かした改修を進めていただきたい。
- ・ ヒラテテナガエビとウグイは回遊性であることを踏まえて再整理いただきたい。
- ・ 流域内人口や人口推移についても整理いただきたい。
- ・ 流域内の地質や社会経済的な情報も整理いただきたい。
- ・ 平成 23 年 9 月洪水における内水被害についても整理していただきたい。

(2) 市木川水系の流域概要について説明をし、次のような意見をいただいた。

- ・ 流域の基礎的資料について井戸川と同様に充実させていただきたい。
- ・ 緑橋防潮水門は貴重な土木遺産なので、補強してこれからも残していただきたい。
- ・ カワヨシノボリは純淡水魚であり回遊性ではないため、注意が必要である。河川管理区間よりも上流側に生息している。
- ・ 流木の発生源として、放置されている間伐材の可能性が考えられる。
- ・ 「市木のイブキ」「神木のイヌマキ」も文化財登録されているため、一覧に挙げていただきたい。
- ・ 自然的遊水地がヨシ原になっているならば、オオヨシキリなどが生息している可能性がある。鳥類の豊かな地域であるため、分かる範囲で鳥類について書き込んでいただきたい。
- ・ 流域内人口を整理するとともに、産業別人口についても整理いただきたい。

4. 閉 会